

平成 30 年度第 3 回外部評価委員会での主な意見

平成 30 年 8 月 21 日(火)15:00~17:00

市役所 4階 4-3会議室

議事

1. 第 2 回委員会会議録(要約)について

- ・阿木のみちくさ教室（放課後児童クラブではない）利用人数を説明
- ・社会福祉協議会とは、将来、子育て支援センターの運営母体となる団体の育成について連携して取り組む旨を説明。

<第2回委員会での検証のとりまとめについて>

- ・どの事業も必要なので、事業はそのままで、内容を見直してやり方を変えることが大切。
- ・計画の途中途中で事業の見直しを行ってほしい。
- ・放課後児童クラブについては、学校区単位、行政区単位で計画することに限界が来ているのではないかと。無理に遂行しようとするのではなく、今後の方向性を模索していくべき。
- ・放課後児童クラブを設置することだけが目標ではなく、子どもの居場所確保を事業の目標とするなら、一旦設置を白紙とし、新しい方法を考えていくべき。
- ・地域に合わせて検討すると良い。設置できたかどうかを検証したら結果は0%だが、他にも方法があると思う。

2. 評価対象事業の平成 27~29 年度の進捗状況について

進捗に遅れのある5事業の検証について説明と質疑応答

■企業誘致推進事業

- ・中津川市としては、どのような企業誘致を図ろうとしているのか。
- ・誘致してくる場所はどこか。
- ・東京、名古屋から中津川へのリニアの発着本数の情報はつかんでいるか。
- ・企業訪問年5社の継続的な件数を挙げていたが、実際、何社が誘致できると考えているのか。研究施設では、大学などの学校施設も募集しているのか。
- ・企業を誘致したとしても、人材確保が問題になるので、人があまりいなくても経営できるような業種、企業に焦点を絞って誘致すればもっと効果が上がる。
- ・研究機関を誘致してどういったメリットがあるのか。
- ・中津川市に興味のある企業を訪問しているというが、もっと積極的に誘致活動を展開していかないと増えないと思う。
- ・新しい企業が来ると既存企業と人材の取り合いになってしまう。人材対策はどうしているか。
- ・企業を呼ぶだけではなく、駅の周りで人が住めるマンションなどが増えて、中津川市からリニアで名古屋などに通勤してもらい、家庭を持てば人口が増えていく。「住めるまち」にする。

■特産品振興事業

- ・特産品を付知、加子母など地区ごとで考えているのか。
- ・認定制度に関する取り組みの実績も進捗も見えてこない。方向転換をするなら計画を見直し、わかりやすくしてほしい。
- ・特産品が何かわからずPRすることはできない。色々な業種の方、地域の方の意見が出ると思う。特産品として対外的に認知されているものを、出荷量などを元に出して決めるべきではないか。
- ・テストマーケティングでかなり成功している部分があると思うが、反応の良いものが特産品に挙げられるのでは。
- ・中津川市に限らず、もう少し広域で連携できるものを探せば効果が上がるのでは。たとえば五平餅など。

■神坂PAスマートインターチェンジ設置事業

- ・良いことだと思うので進めて欲しい。
- ・事業予測や効果予想はされているか。どのくらいの台数が利用予定なのか。特区扱いをしなくても、中津川～神坂間の高速料金を安くしたら利用が増えるのでは。
- ・事業としては多少の遅れはあるものの、問題ないと判断。

■リニア中央新幹線関連拠点整備事業

- ・順調にいったと思う。
- ・ハード事業は少し遅れても挽回されるので問題ないと思う。
- ・リニア関連の事業については関心が高いので早めに情報開示してほしい。

■市有墓地整備管理事業

- ・未整備の土地は今後どうするのか。
- ・合葬墓を整備することによって新たに墓地として利用していけるので、進めるべきだと思う。
- ・合葬墓を運営している自治体はあるか。行政がやらなければいけないのか。民間に委託して提携してやれないのか。寺などに委員会を作ってもらってどうしたらいいか意見をもらったらどうか。
- ・無縁の墓地がたくさんある。荒れた墓地を整理し空いたところを有効活用すればいい。
- ・合葬墓は大切。無縁などを入れてもらえるならありがたい。